

第 1 章

本論

1.1 結果

1.1.1 逆オパール構造のバンドギャップ最適化

逆オパール構造に配置されている球の半径を変化させ、バンドギャップの最適化を行った。以下に球の半径を変化させていった際のバンドギャップの変化を示す。

1.1.2 ウッドパイル構造のバンドギャップ最適化

1.1.3 ヤブロンバイト構造のバンドギャップ最適化

1.2 考察

1.2.1 逆オパール構造のバンドギャップ最適化

1.2.2 ウッドパイル構造のバンドギャップ最適化

1.2.3 ヤブロンバイト構造のバンドギャップ最適化